



联合国  
粮食及  
农业组织

FOOD AND  
AGRICULTURE  
ORGANIZATION  
OF THE  
UNITED NATIONS

ORGANISATION  
DES NATIONS  
UNIES POUR  
L'ALIMENTATION  
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION  
DE LAS NACIONES  
UNIDAS PARA  
LA AGRICULTURA  
Y LA ALIMENTACION

منظمة  
الغذية  
والزراعة  
للأمم  
المتحدة

#### Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,  
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101  
Facsimile: (045) 222-1103  
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

FAO(国際連合食糧農業機関)日本事務所

2011 年 1 月 11 日

LOJAPR11/2-No.183

## プレスリリース

### ハイチ地震:一年後

持続可能で食料不安のない将来のためには、農業への支援が鍵

2011 年 1 月 11 日、ローマ・ポルトープランス —一年が経過したが、現在続いているコレラの発生、ハリケーン・トマスに起因する洪水や地滑りも重なり、ハイチにおける悲惨な地震の余波は、いまだ農村地域で続き、特に農業部門に大きな打撃を与えている。

FAOによれば、農業へのより多くの支援が国家開発目標達成および今後の緊急事態に備えるために不可欠である。

#### 「重大な役割」

エティエン・ペーテルシュミットFAO上席緊急支援・復興調整官は、「貧しく、脆弱で、農業に依存しているコミュニティが自然災害の最も厳しい結果に苦しんでいる」と述べた。

ペーテルシュミットは、「農業は、飢餓と栄養不良の撲滅のみならず、農村所得の向上、環境劣化の改善および将来の脅威に対する強靭性の増加に決定的な役割を果たす」と加えて述べた。

地震発生後、FAOと農業クラスターのパートナーは、農業省と共同で 56 万世帯、300 万人近くの人々の食料安全保障に貢献した。FAOは、2,200 トンの作物種子、1 万 6,490 キロの野菜種子、164 トンの肥料、15 万 6,000 のバナナ苗木、2,900 万のさつまいも挿し木苗、および 19 万の農具を配布している。

これらの農業資材により、合計 6 万 9,000ha の土地の耕作が可能になり、全体で、食料作物 10 万トン以上が生産されたとFAOは推定している。

都市部および避難キャンプでは、FAOが直接またはNGOと連携して菜園を設置し、最も脆弱な 1 万 8,900 世帯に栄養価の高い食料を供給した。

FAOは、農業省を支援し、農業部門の再建のための投資計画を開発し、流域管理の技術支援を行い、国家食料安全保障調整への支援も行った。

#### コレラとハリケーンが負担を増加

ハイチ北西地域の「コメ穀倉地帯」におけるコレラの発生と 11 月のハリケーン・トマスに起因する洪水により農業インフラおよび作物が最大 7 万 8,000ha 被害を受け、貧しい農村家庭の負担を増加させ

た。ハリケーンとそれに続く洪水により、疾病がまさに地震による避難民の多くがいるこの地域で更に蔓延することになった。

FAOと地方政府は、正確な情報と適切な医療へのアクセスがない多くの世帯がある遠隔農村地帯の農民に対し、適切な衛生情報の提供に取り組んでいる。

FAOは3万6,000のハリケーン被災農村家庭、約18万人の人々にも緊急支援を提供している。支援には、豆100トン、ササゲ10トン、トウモロコシ200トン、野菜種子700キロ、コメ200トン、バナナ苗木6万8,000および3万6,600の農具が含まれる。

この支援は、農業省およびクラスターのパートナーとの調整の下、種子や農具を国内4つの戦略的地域に事前貯蔵し、影響を受けた地域で農業生産を迅速に再建できるようにしたFAOの2010年ハリケーン危機管理計画によって促進された。支援プログラムには、22の国家、地方、共同体ラジオ局で放送されたハリケーンに対応するための手段を知らせるスポット広告である国家ラジオキャンペーンも含まれている。

### 将来を見据えて

FAOは現在、緊急支援から長期的再建支援に移行するのに伴い、直接的な農業資材の配布から種子増産その他のより持続可能な活動に移行している。

FAOでは、トウモロコシおよびマメの種子生産を行う小規模農民組織を支援し、高品質な種子の供給を確保し、種子の取引市や引換券プログラムの促進を行っている。その目的には、持続可能な流域管理、栄養対策に関連する都市農業、水と土壌保全、食品加工、ファーマー・フィールド・スクール、世界食糧計画との共同による乳製品の現地調達、アグロ・フォレストリー活動および農村地帯における雇用創出が含まれる。

### リスクの軽減

自然災害に関連するリスクの軽減は、政府の農業部門促進のための投資計画やFAOの国家中期計画を支援するFAOの3ヵ年緊急支援復興再建プログラムの主要な要素である。

災害リスク管理も、FAOの世界的戦略目的の一つであり、復興計画の中心である。

「天然資源および流域管理活動は、土地、資材、水および市場へのアクセスの強化による農業生産性向上と連携していなければならない」とアリ・ツーボ・イブラハムFAOハイチ事務所代表は述べた。

今年は、FAOの活動の三分の二近くは流域管理と森林復興に向けられるとイブラハムは述べた。

環境条件と生活を改善する活動は現在実施されているが、農業に対する投資の不足が被害を受けた人々への迅速な支援を提供し、同時により長期的な支援への基盤を構築することを著しく阻害している。

「効果的、持続可能な対応を行うためには、現在の危機に対処できるように人々を支援するとともに、想定される脅威に対するコミュニティの強靱性を高めるような総合的なアプローチが必要である」とペーテルシュミットは述べた。「また、資金も必要である。」

英文URL: <http://www.fao.org/news/story/en/item/49336/icode/>